

上井地区敬老会挨拶

平成29年6月18日(日)

平成29年度上井地区敬老会の開催おめでとうございます。今年もお会いできましたこと嬉しく思います。また、敬老会のお世話をされておられる各関係者の皆様に感謝申し上げます。上井地区敬老会の対象者952名、新規会員の方が66名とのこと。そのうち、265名の方がホテルセントパレスにお出でいただいているということです。改めておめでとうございます。

高齢者ということと元気で長生きに関わってお話をさせていただきます。今回この会に入会された方は、後期高齢者になられたこととなります。65才から74才は前期高齢者です。今年の1月、日本老年学会が「高齢者を65才から75才に引き上げるよう見直しを提言した」というニュースがあったのを覚えておられる方もあるでしょう。65才から74才までを准高齢者、75才から上を高齢者、90才以上を超高齢者と呼ぶようにしようということだったと思います。65歳以上は倉吉市では3人に1人となっています。敬老会対象者の75歳以上に限っても6人に1人(上井地区では7人に1人)となっています。要するにそれだけ以前に比べると体やあたまが若返っているということらしいです。

また、高齢者を漢字で高い年齢の者と書きますが、高齢者の「こう」を高いではなく「光る」という文字に置き換え「光齢者」と呼ぶこともあるようです。現在、倉吉市では、昨年十月の鳥取県中部地震からの復興に向け、今年度を復興元年として全市を挙げて努力を続けています。震災前以上に「安心安全で元氣なくらしよし倉吉となるためには高齢者の皆さんの知恵や経験が欠かすことが出来ません。倉吉の復興にあたって、倉吉市が、市民全てが光り輝くための皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

元気で長生きということです。これからは、元気な高齢者と言うことが大きなテーマとなると思います。例えば、昨日、JR西日本のトワイライトエクスプレス「瑞風」が大阪駅から山陰ルートで下関まで走りました。1泊2日で一人27万から75万だそうです。実は倉吉駅にも数分ですが停車したんですね。どんなものか興味を持って見物に出かけました。大勢の方が見物に来ておられましたが、その中には敬老会に参加されている方もおられました。知的好奇心を持って駅まで見物に来られたこと、頭も体も使っておられるのです。このことが元気で長生きする秘訣ではないでしょうか。いろんな会やグランドゴルフ等の運動に出席されることが元気で長生きする秘訣だと思います。

皆様方がますますお元気で、来年も元気でお会いできます事をお祈りし、私の挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。